



住宅困窮者への支援について 錦町土地画整理区域の課題について

市議会議員
宮下 奈美

◆住宅困窮者への支援

【宮下】国交省は来年度の予算要求に、住宅セーフティネットの強化についての事業費を盛り込んだ。生活困窮者への住むところの支援はどのようか。生活保護受給者、DV被害者の人への住宅の支援は行っている。それ以外の人への住宅相談窓口は。

ーの中で住宅相談も対応。市

・県営住宅の募集状況の情報提供他、生活福祉資金貸付制度の案内、住宅関連事業団体の紹介等行う。また、住居確保給付金（住居と就労機会の確保目的のため有期で家賃相当分の給付金を支給）の申請の案内をする。

者と連携して困っている人を助けられないか。
【部長】国の諮問機関で空き家等の有効活用することの議論が進められていて今後具体的な制度が策定される予定。注視しながら研究する。

ている。国庫補助の確保がのぞましい」と応えた。財源確保は重要な課題。今年度の財源確保はどうか。
【部長】国の補正予算が10月に成立。この中で錦町の土地画整理事業が該当。ただちに追加要望を行い8250万円が配分された。本年度当初の配分が2億8600万円の要望に対し7150万円と厳しい状況だが、このたびの追加をつけたので助かっている。少なからず当初予定していた事業に近づける。



コミュニティバスは市民の足。もっと便利に！

市議会議員
梶原 秀明
中小企業診断士
@KajiwaraHideaki

【梶原】（昨年夏に）実施したアンケート結果はどうか。

【部長】バスの利用目的は、「買い物」3割、「公共施設利用」2割強、「通院」2割強など。逆まわり運行、市役所・蕨駅への時間短縮を求める要望が多かった。

【梶原】今の3コースに逆まわりを加えると6コースになる。①今の停留所はできるだ

け残すのは大事な考え方だと思いがどうか。②駅と市役所を直行するルートをつくり、塚越から市役所へのアクセスを改善する検討も重要だと思

【部長】①今の停留所をできるだけ残すことと、バスを利用していない人の利便性も考えて、検討したい。②議員の要望もふまえ、総合的に検討

したい。
【頼高市長】高齢化が進む中でバスの存在意義は高い。逆まわりの要望が非常に強く、その検討が重要だ。なるべく多くの方の利便性向上に資するよう検討したい。

◆避難所と仮設住宅の対策

【梶原】①避難所にベッド設置を。②要配慮者への仮設住宅の建設を。③民間機関との仮設住宅設置の協力はどうか。

【部長】①県がダンボール組合と協定し、ダンボール製の簡易ベッドなどが避難所へ供給される。（市内での）備蓄の検討も進めている。②災害救助法が適用されると、市は県に、バリアフリー型住宅を整

備するよう要請し、そうした住宅が建設されるよう市は務める。③応急対策活動協定を蕨建設業組合と締結している。埼玉土建、建設埼玉とも、協定締結を協議中である。

◆高齢者医療の負担増問題

【梶原】負担増を厚生労働省は検討しているが、やめるよう意見を出してほしい。

【部長】市長会などが、現行制度を維持する等の要望を1月に国に提出した。こうした動きを注視する。

◆他に、市民公園・北町公園等の排水機能の改善を求め、部長は、「公園の委託内容を精査しながら、効率的な対応を検討したい」と答えました。

くらし破壊 安倍政権の暴走！ 年金カット法反対の陳情が争点に

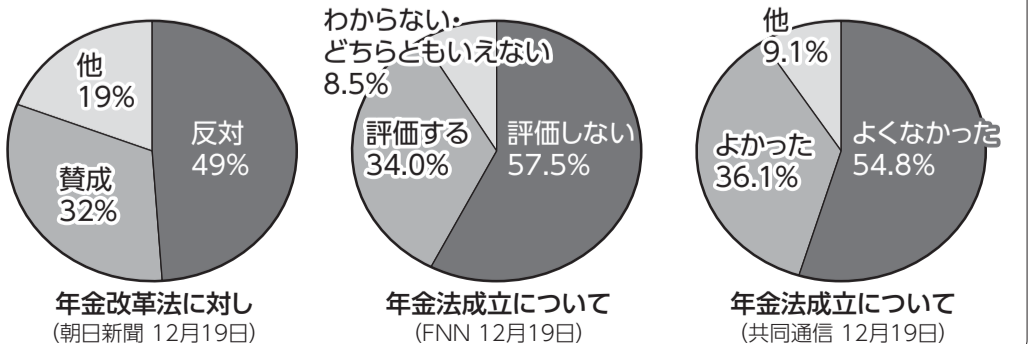
蕨市議会
12月定例会

12月定例会市議会（昨年11月28日〜12月16日）で審議された市長提出議案は、人事院勧告に伴う職員給与に関する条例改正、民間認可保育園等の利用が見込みを上回ったことや新たな障がい者の生活介護事業所開設などに関わる補正予算、市立病院での医療事故の和解の承認など全13件でした。日本共産党市議団は、常任委員会での医療事故の詳細と再発防止策について質疑。採決では、市長提出議案はすべて可決されました。

「年金下げるな」の陳情に新生会と公明党が反対

市議会に年金者組合蕨支部から「年金制度の改善に反対する陳情」が出されました。市議団は、政府の年金カット法が、物価が上がっても現役世代の賃金が下がれば年金を下げる、物価と賃金が上がっても年金は抑制するなど、あらゆる方策で年金の実質削減を進めるものと告発し、陳情に賛成しました。一方、新生会と公明党は、理由を一切述べず反対し、陳情は不採択となりました。傍聴した市民

報道各社の世論調査でも反対・疑問の声が多数



の一人は「年金削減では生活できない。心配している。（理由など）なにも言わず反対では納得できない」と語っていました。
安心して暮らせる制度を 党市議団
市議団は討論で、いま必要なのは低年金の底上げなど、安心できる年金制度だと述べ、野党4党の共闘をひろげ自民党政治に代わる新しい政治をつくる決意を表明しました。



**現状は深刻
商店等を支える
新たな対策を**

市議会議員
鈴木 智

フェイスブック
ツイッターでも発信中

【鈴木】安倍政権と国民生活との矛盾は広がり、格差と貧困の拡大、中間層の疲弊という状況が生じている。蕨市政は、くらしを支える立場を堅持してほしい。また、日本共産党市議団の予算要望書を予算編成に生かすよう要望する。

ところで、市内の商店・飲食店の推移はどのようか。

【市民生活部長】商店は、2

007年6月に683店だったものが14年7月474店に、飲食店は09年7月に513店だったものが14年7月に430店と減少している。

【鈴木】商店街の賑わい創出に空き店舗解消は重要。市内空き店舗の現状とこの間の対策の取り組み状況はどうか。

また、駅前商店街の「ぷらつと」の状況はどのようか。

【部長】15年末の中心市街地の空き店舗は56件（13年は33件）。空き店舗有効活用補助金を使った新規出店はこれまで7件ある。現在、「ぷらつと」は、店舗運営体験などの機能を有する「クアッカ蕨チャレンジレストラン」として再開。体験とセットでの「創業講座」も実施しており、創業や出店につなげたい。

【鈴木】賑わい創出は一定の成果があったが、個別には異なる課題もある。既存商店等も含めた直接の支援が必要。いくつかの自治体で行われているリニューアルや設備更新等への助成を検討しないか。

【部長】商工会議所と協議を

重ね検討したい。

【鈴木】資力のない商店等では、老朽設備の更新や店舗改装、時代の変化に合わせた事業転換等に足を踏み出せず、経営悪化や廃業につながる事例も。支援は必要。経営診断等と併せた活用で一層の効果も期待できる。蕨の現状にあった制度を検討してほしい。

◆教員の負担軽減推進を

【鈴木】この間、日本共産党の国会質問等もあり、国からは負担軽減策が示された。蕨市でも、対策委員会の設置等の具体的な対応を求めたい。

◆建設現場等の騒音対策

【鈴木】騒音対策や説明の徹底を事前協議で指導すべき。



**公園遊具の安全点検
と市民への周知につ
いて質問**

市議会議員
山脇 紀子

フェイスブックで発信中

【山脇】公園遊具の安全点検の結果は、修繕や撤去の計画はどうか。

【都市整備部長】市内65の公園等のうち遊具を設置している58箇所の公園等で遊具総数293基を対象に点検を実施。11基の遊具で危険性が高い使用中の判定に。すぐに使用中止の措置を行ったうえで順次修繕等を行っている。交通

公園のすべり台は腐食が著しく撤去。ブランコ等は年内まで修繕完了できる見込み。

【山脇】安全点検で問題があった遊具においては、黄色のテープが張られ、すぐに使用中止の対応が図られているが、使用中止となった経過や今後の計画についても周知するような親切な対応が必要では。

【部長】おおむねの修理期間

などを現地や市ホームページ等を活用して効果的な周知を行う。

◆保育行政の推進について

【山脇】2017年度にむけた保育園入園申し込みの受付状況はどうか。さらなる認可保育園の増設についての検討はどうか。

【健康福祉部長】新規349名、継続956名の1305名の申し込みがあった。立地や内容、規模など勘案し、認可保育園の増設を考える。

【山脇】保育士不足には処遇改善が必要。保育園や学童保育のパート賃金の引き上げを。

【部長】人員確保の為、引き

◆介護保険制度について

【山脇】一般介護予防教室、ぴんしゃん教室の申し込み方法は。一覧表にするなどわかりやすい広報ができないか。

【部長】地域包括支援センターにおいて電話や来所による受付をしており先着順。工夫してわかりやすいお知らせをしていきたい。

【山脇】電話での先着順の申し込みは、高齢者にとって大変であるので、抽選方式にする等の改善が必要ではないか。

【部長】提案にあった方法も含めて、よりよい応募方法を検討していく。

◆ほかに「歯周疾患検診の拡充」質問しました。

市民を守る市政の推進を 市長に予算要望書を提出



写真右から頼高市長、鈴木議員・山脇議員・宮下議員・梶原議員

日本共産党蕨市議団は昨年11月16日、頼高英雄市長に2017年度蕨市予算編成に対する要望書を提出しました。安倍政権の悪政が市民生活を直撃している中、市民のくらしを支える市政の役割を強調する内容です。介護保険制度の改善、入所施設の設置など障がい者福祉の充実、生活困窮者対策、国保の広域化問題、震災対策、蕨駅へのホームドアの設置、錦町土地区画整理の推進、中小企業支援、効率的な行政運営など全294項目が盛り込まれています。「要望書」は党市議団ホームページで公開しています。

お気軽にお声掛けください

日本共産党市議団の市民相談

2月 8日(水) 22日(水)
3月 15日(水) 29日(水)

時間：午後2時～4時
場所：市役所4階 日本共産党市議団控室

相談無料 当日の電話は ☎432-3590

12月市議会初日、頼高市長は6点について市長報告。市民意識調査の結果では、市政への市民からの高い評価が示されました。以下、主なものを紹介します。

あったが市政への期待は高まる 頼高市長の市長報告

◆まちへの愛着が20年間で最も高い
今年度の市民意識調査の結果がまとまった。まちへの愛着が昨年より8.2ポイント増の77.2%、永住意識が67.7%とこの20年間で最高になった。また、「蕨市が子育てしやすいと感じるか」は49.2%と10年間で最高に。

◆児童・生徒による「ケイタイスマホのルール」づくり
アウトメディアの一環として児童・生徒がみずから考え作りあげた「ルール」を発表。今後、家庭との連携で普及・啓発をすすめる。